

12月フルーツミックス

～発達を知って好きな玩具を見つけよう～

クリスマスが近づいてきました。今年のプレゼントは何にしようかな?と考える時期ですね。“今、どんなことに興味を持っているか”を発見すると、『発達に合ったおもちゃ選び』につながります。



【12月のねらい】

- さくらんぼ組
 - ・戸外に出て遊ぶ
 - ・靴や靴下を脱ごうとする
- いちご組
 - ・イメージを持って遊ぶ
 - ・生活を再現した見立て遊びやごっこ遊びを楽しむ
- りんご組
 - ・靴下のはき方を知る
 - ・鼻水が出ていることに気づき、保育者と一緒にかむ
- ・簡単なルールを理解し、友だちや保育者と一緒に楽しむ
 - ・鼻のかみ方を知り、自分でかもうとする

これなんだろう? 1歳～1歳半頃

目に見えるもの全て触ってみたいと感じる時期です。『触ってみたい』と視覚的に楽しめる玩具を好みます。触れたい、知りたいという探索心が大切な学びにつながります。



もっともっとやってみたい! 2～3歳頃

更に手指が発達し、集中力も少しずつついてくる時期です。机の上で、座ってひとつの玩具で遊ぶことができるようになるので、ひも通しや、モザイク、シグソーパズルなどもおすすめです。



もしもし...



一緒に遊ぼう! 2歳半～3歳半頃

遊びの中で、友だちとの関わりが増えてきます。「友達と一緒に遊ぶことが楽しい!」気持ちから、お世話やごっこ遊びへと発展してきます。また、簡単なルールを守ろうとすることができるようになり、大人と一緒に簡単なゲームが出来るようになります。



キウイはどこだ?

出来た! がうれしい 1歳～2歳頃

手指の細かい動きが発達してくる時期です。「自分で出来たよ」「みてみて」など大人と一緒に玩具で遊ぶ楽しみを感じます。『出来た』と経験を積み重ねると、何でも意欲的にしようとする事につながります。型はめパズルや簡単なパズル(2ピース)、積み木遊びを始める時期です。

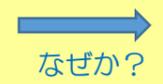


おいしょ...



こんな姿ありませんか?

- おもちゃの遊び方が違う
- まるでおもちゃに興味がない
- 年齢・発達に合っていない
- 興味や関心が薄い



なぜか?

↓ 何が必要?

『発達に合ったおもちゃ選び』

子どもたちにとって、自然に興味を持ったり、やりたいことがあれば、必ず集中して遊びます。

➡今、どんな事に興味・関心を持っているかな?

例：おもちゃをポイポイ投げる ⇒ 投げることが楽しい ➡ ポールで遊ぼう

すき間に何でも入れる ⇒ 入れることが楽しい ➡ ポットン落としをしよう

☆普段、つい“駄目だよ”と叱ってしまうことを、「今興味を持っていること」に視点を変えると

『発達に合った好きな玩具』が見つかる第一歩となります。



できた!!



できた!!

